

第2回 海南省総合計画審議会 議事要旨

日時：令和2年10月16日（金） 午後1時30分

場所：海南省役所 2階 第1委員会室

1. 議事

(1) 市民アンケート調査について

(2) 基本構想（骨子案）について

(3) その他

2. 会議結果

(1) 市民アンケート調査について

(A委員)

無作為抽出の2,000名は、人口比率に関係なくサンプリングされたのか。

(事務局)

18歳以上の方を無作為に抽出した。

(B委員)

無作為に抽出したとのことだが、年齢による偏りなどは考慮しなかったのか。

(事務局)

結果的に、ある程度人口比率で抽出されているものと考えている。

(C委員)

今回のアンケート実施時期は6月のコロナの影響が大きかったころであり、特殊な要因があるかもしれないが、概ね満足度の改善がみられる状況である。

(D委員)

満足度が上がっていて重要度も上がっている施策について、これからも取り組んでいくというような表現になっている。重要度が高くて満足度が低い施策をテコ入れしていくべきだと思うのだが。

(事務局)

資料の16ページに記載しているが、満足度が低くて重要度が高いAの領域の項目については、優先して取り組んでいかなければならないと考えている。

(E 委員)

満足度が上がってきたというのは最終的な結論であるが、上がってきた要因など、分析しているのか。

(事務局)

例えば、道路の整備や子育て支援の充実といった項目の満足度の上がり方が大きかったが、身近な道の整備や子ども園の整備、医療費助成の拡充などが満足度を押し上げているのではないかと考えている。

(C 委員)

逆に、満足度は改善されているが、明確な理由が分かりにくいようなものがあれば説明願いたい。

(事務局)

安全で安定した水道水の供給について満足度が伸びている。東部地域での上水道化が考えられる。それ以外であれば、老朽管の年次的な更新による突発的な断水が減っていると考えられるが、明確な説明は難しい。

(D 委員)

今回のアンケートには自由記述欄は無かったのか。

(事務局)

最後に設けている。

(D 委員)

先ほどの回答は、自由記述から導き出して推測したと受け取っていいのか。

(事務局)

各設問に対する思いを自分の言葉で書いていただいたものと理解している。

(F 委員)

アンケート結果は全体的にまとめている。地区とか地域性があると思うのだが。

(事務局)

アンケートでは居住地区を回答する項目があり、集計は可能である。今回の総合計画は市全体の計画であるため、全体の結果のみ記載している。

(2) 基本構想（骨子案）について

(E 委員)

目標値はどのように決めているのか。また、7ページの「快適な居住環境が整っていると感じている市民の割合」の調査値が45.1%、目標値が37.0%とあるが、どう考えればいいのか。

(事務局)

例えば、「身近な道路が整備されていると感じている市民の割合」であれば、過去の数値を考慮し、年2.5%、4年間の計画期間中に10%上げるよう設

定している。また、「快適な居住環境が整っていると感じている市民の割合」については大きく目標値を上回っており、第3次計画で同じ指標を使うのであれば、これらを加味して再設定することとなる。他の指標についても、第3次計画で仮に同じ指標を使うのであれば、現状値を踏まえて目標値を見直すこととする。

(G 委員)

4 ページの策定の背景の中で、2 番の子育て支援・教育の充実について、ノビノスができたこともあり、社会教育分野についても重要性が増してきていると思う。社会教育分野についての文言の追加をお願いしたい。

(事務局)

今後、追加する方向で検討していく。

(H 委員)

横文字など意味が分かりにくい文言がある。財政状況についてもデータを載せているが、これがどうなるか分かりにくい。また、8 ページの政策目標 4 の中で、健康づくりについて目標値を達成できていない、引き続き取り組むと記述があるが、指標は指標としてこのとおりにかもしれないが、海南市は認知症の数が減って、介護認定者数も減ってきている。様々な取組によって海南市はよくなっている、などのことは記述できないのか。

(事務局)

分かりにくい文言については、用語解説として計画書の後ろにまとめて記載する予定である。また、認知症の件については内容を精査して、加筆等検討する。

(C 委員)

この施策により、こういったことが改善した等の記述は必要であると思うが、政策目標のところに記述するかどうかは、全体の兼ね合いもある。どこに記述するかは構成上検討が必要であるが、委員の意見は反映してもらいたい。

(I 委員)

第1次、第2次の計画については全体的なことを捉えて記述していると思う。第3次については、現状はこうであるが、5年、10年後はこうしたいなど、もっと具体的なことを記述してもらいたい。

(事務局)

具体的な記述については、基本計画で記述していきたい。

(C 委員)

具体化するアイデアをこの会を出していただければ、計画に反映できるかどうかは分からないが、議論の対象にはなる。総合計画を策定する基本的な背景としての7つの留意点、政策目標に関連付けられる具体的な案であれば、ぜひご意見をいただきたい。

(A 委員)

AIやITは今後の社会で絶対外せないことだと思う。社会教育の中で、AIやITなどの基本的な教育は必要となってくる。また、AIが進むと労働から解放されるという意見もあり、その余暇を何に使うかが今後の人生観の幸せになっていく。そういった大きな基本構想が必要であり、10年後、20年後、自分たちはこの街で住みたいという意見が必要である。

(C 委員)

個々の取組を特定の政策目標の領域の一つの課題として認識するのではなく、他の政策領域の事柄にもリンクするような関連付けを意識する必要があるという指摘だと思う。これからテレワークが進む可能性がある中、海南市の空き家に移住してもらい、海南市で仕事をしてもらおう。海南市は山もあって海もあって気候もいい。IT技術者に移住してもらおうと同時に、海南市のIT教育であったりITレベルを高めてもらう施策とマッチングできれば、一つの事柄で複数の事柄に対応することが可能となる。